



令和7年(2025年)7月24日(木)和木町立和木小学校体育館において、JFA 小学校体育サポート研修会が「令和7年度岩国市・和木町小学校教育研究会 体育部会 第2回研修会」として実施されました。

指導者として、公益財団法人 日本サッカー協会 JFA コーチ 尾形行亮 様をお招きし、サッカーのみならず、体づくり運動遊びからボール運動までを中心に、体育科の授業づくりについてご指導いただきました。参加者は、小学校の教員でもある尾形先生のリズミカルなテンポのよい声かけや指導内容に引き込まれていきました。暑さ厳しい日でしたが、体育主任の先生方から、体育好きの先生方まで、47名の先生方の参加がありました。岩国・和木地域の先生方の熱心な取組に敬服しました。(和木小学校のエアコン付きの体育館をうらやましく思いました。)

まず、参加者一人一人が、新聞紙を丸め、ビニル袋に入れた手作りの「My ボール」を作成しました。次に、ウォーミングアップ(動きづくり)として、気分を盛り上げたり、主運動へのきっかけとなったりするような活動(運動遊び)を行いました。参加者も互いに自然と笑顔になり、笑い声も聞こえました。その後、手作りのボールや柔らかいサッカーボールを使い、簡単な動きや遊び(活動1、活動2)、そしてゲーム、ボール運動へと発展するような流れで実技を体験しました。



本研修では、参加者全員がいただいた「新・サッカー指導の教科書」の内容を中心に、その考え方やエッセンスを体験しました。基本的な考え方である「**構想は逆算 実施は積み上げ**」に基づき、45分の構成、1学年の構成、小学校の構成を学ぶことができました。その中で、「どの子も楽しむ」

「**技能差の克服**」「**たくさん動く**」ことを大切にされ、教材の構成や場の設定の意味についても説明を受けることで、より理解が進みました。特に**たくさん動く**「**並ばない、ただ走らせない、話しすぎ**

ない(no line, no laps, no lecture)」ことは、繰り返し何度も口にされたのが印象に残っています。

今回の研修は主に体育主任の先生方が中心に参加されました。サッカーの授業づくりだけでなく、体育科の授業づくり全てに通じる考え方やエッセンスを学ぶことができた貴重な研修会となりました。





手づくり My ボール

新聞紙を一枚ずつ重ねながら丸めていきます。堅くなりすぎないように注意し、ビニル袋に入れてガムテープで留め、名前を書きます。

ボールができると、大人も思わず蹴ったり、投げたりしていました。（子どもと一緒にです。）

「じゃんけん」「手押し相撲」「言うこと一緒、やること一緒」（教本 P26）など、心と体をほぐす運動や人間関係づくりの運動を行いました。みんなの顔が一気に笑顔になり、笑い声があふれました。



ウォーミングアップ(動きづくり)



活動1として、ボールフィーリング、ドリブル、川渡りドリブル（P40）など学年に応じた活動を体験しました。それぞれの活動には意図があり、活動2やその後のゲームに必要な動きづくりやスペースのを見つけ方などを楽しくゲーム感覚で体に身に付く構成になっていました。

活動1（ボールフィーリング、ドリブル、川渡りドリブルなど）

みんながボールに触れることができるように工夫されていました。評価の視点や大切な場面では、ゲームを止めて詳しく説明がありました。



活動2（ナンバーコールゲーム（P44）など）

様々なゲームを行いました。場やルールの工夫で、技能差や個人差が吸収され、得意な子ども達も苦手な子ども達も、誰もが楽しめるゲームを体験しました。講師の先生の声かけは、教師としての声かけであり、声をかけられる嬉しさや大切さも体感しました。あっという間の研修でした。



ゲーム（P41、101 など）